

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略(中期) 重要業績評価指標 (KPI) 進捗状況

現状値

★指標は目標ごとのシートに入力した数値を反映します。

資料 3

目標値

基本目標		基本的施策	指標所管課	指標	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	前年比	対目標比	R5達成状況	めざそう値 (R6)
1	子育て世帯をターゲットとした 教育環境の充実 (教育環境)	①安心できめ細かな教育実現	学校教育課	学校生活に満足している児童・生徒の割合	%											
				①小学生		90.6	92.1	91.9	91.9	90.9	91.1		0.2	△ 3.9		①95.0
				②中学生		91.1	86.3	85.8	91.1	88.7	90.6		1.9	△ 4.4		②95.0
			学校教育課	みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合	%											
				①小学生		76.5	77.7	71.0	69.5	65.4	64.9		△ 0.5	△ 15.1		①80.0
				②中学生		70.1	71.9	69.7	66.3	69.0	63.6		△ 5.4	△ 11.4		②75.0
		②子育て世帯の学資援助	学校教育課	体力や運動能力に優れた児童・生徒の割合	%											
				①小学生		29.3	32.0	—	5.8	13.8	13.8		0.0	△ 21.2		①35.0
				②中学生		19.6	21.5	—	17.9	17.5	21.9		4.4	△ 3.1		②25.0
			教育総務課	学校生活における経済的支援により子育て環境が良いと思う市民の割合	%	77.9	76.0	80.3	83.5	81.8	85.3		3.5	1.3	達成	84.0
			教育総務課	奨学金新規利用者数	人	8	13	17	24	29	30		1	△ 23		53
			学校教育課	学校生活に満足している児童・生徒の割合 (東地域)	%	90.0	85.7	83.3	89.4	87.5	95.2		7.7	0.2	達成	95.0
2	若い世代の結婚・出産・子育て等の希望の実現 (結婚・子育て)	⑤校外教育への支援	学校教育課	自主的に学習に取り組む児童・生徒の割合	%											
				①小学生		75.0	75.0	80.0	83.1	82.6	82.4		△ 0.2	2.4	達成	①80.0
				②中学生		76.0	76.0	76.0	78.4	74.3	69.4		△ 4.9	△ 10.6		②80.0
		②子育て世帯の学資援助	企画課 市民課	合計特殊出生率	—	1.47	1.40	1.37	1.45	1.33	1.24		△ 0.09	△ 0.53		1.77
				年少人口 (0～14歳)	人	6,522	6,278	6,122	5,990	5,810	5,589		△ 221	△ 980		6,569
		①子育て応援情報の発信	こども課	子育て応援アプリ「みどりん」の年間ダウンロードユーザ数	人	259	279	234	201	224	—		—	—		300
		②働く親への支援充実	こども課	保育施設と学童保育施設の待機児童数	人	0	0	0	0	0	0		0	0	達成	0
		③出産希望者の支援	企画課・市民課	出生数	人	330	306	299	312	278	未公表		—	—		310
		④子育て世帯の経済的支援	こども課	子育ての不安を持つ保護者の割合	%	33.1	30.2	26.7	29.1	33.3	34.6		△ 1.3	△ 14.6		20.0
		⑤子育て環境の整備	こども課	地域における子育て支援事業への協力者数	人	233	217	196	82	91	143		52	△ 107		250
		⑥出合いの場の創出	企画課・市民課	婚姻届受理数	件	209	196	171	161	151	未公表		—	—		230

3	みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大 (はたらく場)		商工課	新規求人数	人	861	762	971	1,099	702	679		△ 23	△ 321		1,000
		①地域産業の活性化	商工課	商品開発・販路拡大の取組件数	件	9	11	11	18	35	37		2	22	達成	15
			農林課	認定農業者数	人	185	187	187	187	181	181		0	△ 4		185
		②産業の担い手育成	農林課	新規林業従事者数	人	9	4	0	0	0	0		0	△ 5		5
			農林課	新規就農者数	人	3	8	1	2	3	4		1	△ 1		5
			商工課	市の融資制度を活用した開業者数	事業所	12	12	12	12	12	12		0	△ 6		18
		③産業活性化の基盤づくり	商工課	市の優遇制度を利用し市内に事業所を新設・増設等した件数	件	0	1	3	1	4	0		△ 4	△ 2		2
4	安心して住み続けられる環境づくりと移住促進 (移住促進)		企画課	社会増減数	人	195人減	40人減	147人増	65人減	32人減	132人減		△ 100	△ 14		118人減
		①遊休資産の有効活用	建築住宅課	空き家バンク登録物件活用件数	件	3	0	0	10	10	6		△ 4	2	達成	4
		②転入者への積極的支援	企画課・市民課	転入者数	人	1,545	1,667	1,571	1,449	1,646	1,354		△ 292	△ 196		1,550
			企画課・税務課	新規住宅建築件数	件	185	240	185	194	189	177		△ 12	△ 8		185
5	地域特性に応じた魅力発信と定住促進 (観光)		観光課	観光客入込数	万人	241	233	141	157	164	181 (10月確定)		17	△ 119		300万
		①多様な媒体で魅力発信	地域創生課	SNSフォロワー数	人	1,030	2,150	3,580	4,310	4,674	4,980		306	1,980	達成	3,000
			観光課	みどり市観光ガイドの会利用者数	人	3,797	4,336	420	645	1,594	1,919		325	△ 4,081		6,000
		②交流ゾーンの整備	観光課	観光資源数	件	31	34	34	34	34	31		△ 3	△ 4		35
		③観光の広域連携	企画課・観光課	市内全駅の年間乗降客数	万人	166	164	108	117	129	138		9	△ 31		169万
		④独自イベントの実施	観光課	各種イベント開催時の観光客数	人	236,524	195,577	5,000	24,723	66,388	234,161		167,773	△ 25,839		260,000

強化目標		基本的施策		指標所管課	指標	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	前年比	対目標比	R2達成状況	めざそう値 (R6)
A	民間との協働を推進 (民間協働)		地域創生課	ボランティア・NPO活動をしている市民の割合	%	11.8	14.2	11.7	9	11.4	13.5		2.1	△ 11.5			25.0
			地域創生課	連携により実施した事業数	事業	47	50	55	69	69	67		△ 2	12	達成		55
		①ボランティア・NPOとの協働	地域創生課	地域活動に取り組む市民団体数	団体	56	60	59	59	62	63		1	△ 7			70
		②企業・団体との協働	地域創生課	連携協定を締結している企業・団体数	団体	6	6	8	10	11	11		0	3	達成		8
B	誰もが活躍できる地域社会を実現 (全員活躍)		介護高齢課	生きがいを持っている高齢者割合	%	80.9	81.2	79.6	77.3	76.2	76.7		0.5	△ 11.3			88.0
			地域創生課	男女共同参画社会が実現していると思う市民の割合	%	62.9	63.6	55.6	57.5	50.2	54.5		4.3	△ 20.5			75.0
			社会福祉課	企業の障がい者雇用率	%	2.09	1.84	2.01	2.26	2.12	2.21		0.1	△ 0.1			2.30
		①健康維持で生涯活躍	健康管理課	健康のために実践している平均項目数	項目	4.7	4.8	4.8	4.8	4.6	4.8		0.2	△ 2.2			7
		②女性の社会進出支援	地域創生課・商工課	女性就労支援のための相談会・研修会実施回数	回	2	2	0	1	3	3		0	1	達成		2
			地域創生課	審議会等における女性委員の割合	%	26.2	28.6	28.8	26.3	24.5	28.3		3.8	△ 6.7			35.0
		③障がい者の自立と共生	社会福祉課	自立支援給付を受けて地域生活している人数	人	401	410	438	488	509	542		33	△ 8			550
C	都市部・他地域からのひとや資金の流れを強化 (交流推進)		地域創生課	連携により実施した延べ事業数	事業	53	53	63	78	78	76		△ 2	11	達成		65
		①地域間交流・連携の推進	地域創生課	交流人口増加を目的に連携している自治体数	自治体	12	12	12	12	12	12		0	△ 3			15
		②地方創生のための財源確保	地域創生課	ふるさと納税件数	件	130	178	278	851	1,212	3,705		2,493	3,505	達成		200

基本目標1 子育て世帯をターゲットとした教育環境の充実（教育環境）												
学校生活に満足している児童・生徒の割合（①小学生）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値			
	実績（%）	90.6	92.1	91.9	91.9	90.9	91.1		95.0			
	R5状況	誘因・要因・課題										
前年度から0.2ポイント上昇しており、めざそう値に比べて3.9ポイント低い状況です。		令和4年度より僅かですが向上し、回復傾向を示しています。コロナ禍の影響もなくなり、友達と交流しながら学校生活を送れるようになったことが要因だと考えられます。今後も、子供たちが主体的に考え、動き出すことを支援し、他者と協働しながら学びを深められるよう、一人一人に寄り添った質の高い教育を推進していきます。また、Q-Uの結果分析を生かすとともに、児童主体の活動を多く取り入れる等の工夫を通して自己肯定感を高め、居心地の良い学校・学級づくりを行います。										
		備考：「学校評価がトク」(文部科学省)に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。										
学校生活に満足している児童・生徒の割合（②中学生）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値			
	実績（%）	91.1	86.3	85.8	91.1	88.7	90.6		95.0			
	R5状況	誘因・要因・課題										
前年度から1.9ポイント上昇しており、めざそう値に比べて4.4ポイント低い状況です。		小学校同様回復傾向を示しており、令和4年度より1.9ポイントの上昇となりました。コロナ禍の影響もなくなり、学校行事や部活動といった通常の学校生活が送れるようになったことが大きいと考えられます。今後も、子供たちが主体的に考え、動き出すことを支援し、他者と協働しながら学びを深められるよう、一人一人に寄り添った質の高い教育を推進していきます。そして、生徒一人一人が活躍できる場をクラスや学校行事、生徒会活動等の中で設定し、所属感や自己肯定感をさらに高めていきます。										
		備考：「学校評価がトク」(文部科学省)に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。										
基本的施策 ①安心できめ細かな教育実現												
みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合（①小学生）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値			
	実績（%）	76.5	77.7	71.0	69.5	65.4	64.9		80.0			
	R5状況	誘因・要因・課題										
前年度から0.5ポイント下降しており、めざそう値に比べて15.1ポイント低い状況です。		令和4年度よりもさらに0.5ポイント下降しました。依然として下降傾向が続いており、課題は大きいと考えます。各学校で取り組んでいる、子供中心の学びの実現に向けた授業改善やICTの活用が、まだ成果として表れていないことが考えられます。児童が課題を自ら見だし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学びの転換を図ります。また、個々の学力にあった個別最適な学びができるよう努めます。										
		備考：										
みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合（②中学生）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値			
	実績（%）	70.1	71.9	69.7	66.3	69.0	63.6		75.0			
	R5状況	誘因・要因・課題										
前年度から5.4ポイント下降しており、めざそう値に比べて11.4ポイント低い状況です。		令和4年度には回復傾向が見られましたが、そこから5.4ポイントと大きく下降してしまいました。各学校で取り組んでいる、子供中心の学びの実現に向けた授業改善やICTの活用が、まだ成果として表れていないことが考えられます。生徒が自ら課題を設定し、他者と交流しながら試行錯誤して解決できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた、学びの転換を図ります。また、個々の学力に合った個別最適な学びができるよう努めます。										
		備考：										
体力や運動能力に優れた児童・生徒の割合（①小学生）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値			
	実績（%）	29.3	32.0	—	5.8	13.8	13.8		35.0			
	R5状況	誘因・要因・課題										
前年度からの変化はありませんでした。めざそう値に比べて21.2ポイント低い状況です。		令和4年度との数値的な変化はありませんでした。めざそう値にはまだ及びませんが、学校生活が通常の状態に戻り、運動する機会は確実に増えています。引き続き、体育の授業を通して運動の推進を図るとともに、各校の体力向上プランに基づく取組を充実させ、さらに運動する機会を確保します。特に、体育的行事を工夫し、身体的活動量が増加するような取組を行っていきます。										
		備考：体力・運動能力調査における優良証										
体力や運動能力に優れた児童・生徒の割合（②中学生）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値			
	実績（%）	19.6	21.5	—	17.9	17.5	21.9		25.0			
	R5状況	誘因・要因・課題										
前年度から4.4ポイント上昇しており、めざそう値に比べて3.1ポイント低い状況です。		中学校では令和4年度より大きく向上し、コロナ前の水準を超えました。コロナ禍の影響がなくなり、体育の授業や部活動を通常通りに実施できるようになったことが大きいと考えられます。引き続き、体育の授業を通して運動										

基本的施策 ②子育て世帯の学資援助										
学校生活における経済的支援により子育て環境が良いと思う市民の割合			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(%)	77.9	76.0	80.3	83.5	81.8	85.3		84.0
R5状況		誘因・要因・課題								
前年度から3.5ポイント増加し、めざそう値(R6)に比べて1.3ポイント多く、めざそう値を達成しました。		本施策（経済的支援）により、多くの世帯が子育て環境が良くなったと感じていることが、約76～84%（子育て環境が良いと思う市民の割合）という結果に表れているものと考えられます。 R5年度は、R4年度より3.5ポイント増加し85.3%の数値となりました。 市立小・中学校の給食費無料化が事業開始から7年経過し、本施策に対し、一定程度認識が定着したことで当然のことと認識されつつありましたが、継続事業として実施してきたことで改めて子育て世代への重要な役割であったことが要因と考えられます。 引き続き、本施策内容の更なる周知や理解を図り取り組んでいきます。								
		備考：まちづくり市民アンケート								
基本的施策 ③将来を担う若者を支援										
奨学金新規利用者数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	8	13	17	24	29	30		53
R5状況		誘因・要因・課題								
R5年度の新規利用者数は1人で前年度から4人減少しました。新規利用者数の累計は30人でめざそう値との差は23人です。		令和5年度は、新規契約者1名に奨学金を貸与しました。 本市の奨学金の利用者は減少傾向にありますが、その要因として、日本学生支援機構が「高等教育就学支援新制度」として対象を拡充していることや、市内の子どもの数が減少していることが挙げられます。 市民の教育機会の均等を確保するため、また国や県の制度で不足する部分を補完するためにはどのような制度が求められているのか、引き続き研究する必要があると考えます。								
		備考：市奨学金新規契約者数及び市奨学金継続貸与者数								
基本的施策 ④小中一貫教育の導入										
学校生活に満足している児童・生徒の割合（東地域）			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(%)	90.0	85.7	83.3	89.4	87.5	95.2		95.0
R5状況		誘因・要因・課題								
前年度から7.7ポイントと大きく上昇し、目指そう値に達しました。		令和4年度4月に義務教育学校となった「あずま小中学校」では、特色である英語教育やプログラミング教育に積極的に取り組んでいます。また、1年生から9年生までがともに生活することで、他の学校にはない連帯感や上級生としての自覚が芽生えています。それらが令和4年度から大きく向上した要因だと考えられます。今後も東地域ならではの教育資源やきめ細かな指導を生かし、魅力ある学校づくりを行っていきます。								
		備考：学校評価における学校生活満足度評価（東地域のみ）								
基本的施策 ⑤校外教育への支援										
自主的に学習に取り組む児童・生徒の割合（①小学生）			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(%)	75.0	75.0	80.0	83.1	82.6	82.4		80.0
R5状況		誘因・要因・課題								
前年度から0.2ポイント下降しましたが、めざそう値には達しています。		令和4年度よりわずかに下降しましたが、めざそう値には達成しています。学校できめ細かな指導を継続してきた成果だと考えられます。しかし、依然として児童の受け止めと家庭の受け止めの間にはギャップがあり、児童の意識に対して家庭の見方は厳しい傾向が続いています。今後も学校の授業改善だけでなく、家庭学習の内容や方法について検討するとともに、学校と家庭とが連携して学力向上に努められるよう、保護者への啓発を続けていきます。								
		備考：学校評価における家庭学習評価								
自主的に学習に取り組む児童・生徒の割合（②中学生）			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(%)	76.0	76.0	76.0	78.4	74.3	69.4		80.0
R5状況		誘因・要因・課題								
前年度から4.9ポイント下降し、めざそう値に比べて10.6ポイント低い状況です。		令和4年度よりさらに4.9ポイント下降し、右肩下りの傾向が続いています。また、小学校同様、生徒の受け止めと家庭の受け止めの間にはギャップがあり、依然として生徒の意識に対して家庭の見方は厳しい状況です。中学生にも、家庭学習の内容や方法についての指導を行うとともに、引き続き学校と家庭とが連携して学力向上に努めることで、家庭においても生徒が進んで学習に取り組む様子が理解されるよう取り組んでいきます。								
		備考：学校評価における家庭学習評価								

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育て等の希望の実現（結婚・子育て）

[illegible]

基本的施策 ⑤子育て環境の整備										
地域における子育て支援事業への協力者数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	233	217	196	82	91	143		250
R5状況		誘因・要因・課題								
前年度から52人増加していますが、めざそう値(R6)に比べて107人少ない状況です。		令和4年度と同様、コロナ禍の影響を受けている状況があり、めざそう値の達成に至っていません。 地域に子育ての協力者を増やすため、積極的な子育て講座の開催やファミリーサポートセンターの制度周知に取り組んでいく必要があります。								
		備考：子育て応援サポーター認定者数(年間)、子育て応援団登録者数(年間)、ファミリーサポートセンター会員数(育児分)の合計								
基本的施策 ⑥出会いの場の創出										
婚姻届受理数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(件)	209	196	171	161	151	未公表		230
R5状況		誘因・要因・課題								
R5年度の数値は未公表です。 【参考】前年度から10件減少しており、めざそう値(R6)に比べて79件少ない状況です。		婚姻届受理数は減少傾向にあり、令和4年度の受理数は令和3年度から微減ですが、コロナ前の令和元年度比では72%と大幅に減少しています。要因としては、物価高騰等による経済的不安の影響や、価値観の多様化、出会いの機会の減少などが想定されます。 結婚を希望する人がその希望を叶えられるよう、市としても効果的な取り組みを積極的に進める必要があります。								
		備考：群馬県の人口動態統計概況								

市の融資制度を活用した開業者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(事業所)	12	12	12	12	12	12		18
	R5状況	誘因・要因・課題							
	前年度と同数で、めざそう値(18事業所)に比べて6事業所少ない状況です。	令和5年度までに市独自の融資制度を活用した開業者数は12事業所と横ばいの状況が続いています。新型コロナウイルス感染症や、資源価格等の物価高騰の影響もあり、新たな利用者が増えていない状況です。 今後、物価高騰の長期化など不安定な経済状況の中でも、新規開業につながる支援策の一つとして、制度の周知が求められます。 備考：起業家チャレンジ資金貸付事業延べ利用者数							

基本的施策 ③産業活性化の基盤づくり									
市の優遇制度を利用し市内に事業所を新設・増設等した件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(件)	0	1	3	1	4	0		2
R5状況		誘因・要因・課題							
前年度から4件減少しており、めざそう値に比べて2件少ない状況です。		引き合い相談を継続して行い、令和5年度は土地のマッチングを3件行いましたが、年度内に土地売買契約に至ったケースがなく、優遇制度の利用件数は減少しました。 優遇制度については、引き続き継続するとともに、産業団地整備や都市計画を意識し、まとまりのある土地利用に向けた制度の見直しを図りながら企業誘致に取り組みます。							
		備考：企業立地促進事業の指定事業所数							

基本目標 4 安心して住み続けられる環境づくりと移住促進（移住促進）										
社会増減数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績	195人減	40人減	147人増	65人減	32人減	132人減		118人減
R5状況		誘因・要因・課題								
前年度から100人減少しており、めざそう値（R6）に比べて14人少ない状況です。		令和5年度においては、転入者数は1,354人で前年度比292人減（82.3%）、転出者数は1,486人で前年度比192人減（88.6%）となり、132人の社会減となりました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会活動が抑制され、転出者が少なかったことから社会増となっていました。令和5年度にはコロナが5類移行となったこともあり都市部等への人口流出が再び多くなっております。								
		子育て施策も絡め、移住・定住に繋がる政策により住みやすいまち、戻って来くなるまちづくりを目指し、KPIの向上につなげていく必要があると考えます。								
		備考：住民基本台帳（4月1日～3月31日の合計） 転入者数－転出確定者数								
基本的施策 ①遊休資産の有効活用										
空き家バンク登録物件活用件数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(件)	3	0	0	10	10	6		4
R5状況		誘因・要因・課題								
前年度から4件減少しており、めざそう値（R6）に比べて2件多い状況です。		令和3年度、令和4年度は活用件数が10件と増加しておりましたが、令和5年度では6件と減少しました。令和5年度事業として、笠懸町地区で無料相談会を1月に実施し、空き家バンクの登録件数を増え、登録物件数の確保が出来ております。また、全国版空き家バンク（at home）に登録し、全国へ登録物件のPRを行いました。今後も、空き家バンク登録件数の増加が見込まれますが、引き続き活用件数の増加を図るため、無料相談会等を継続していく必要があります。								
		備考：空き家バンク登録台帳								
基本的施策 ②転入者への積極的支援										
転入者数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	1,545	1,667	1,571	1,449	1,646	1,354		1,550
R5状況		誘因・要因・課題								
前年度から292人減少し、めざそう値（R6）に比べて196人少ない状況です。		転入者数は、コロナが5類移行となったことに伴う経済活動の復活によりR4年度と比較して196人の減少となりました。								
		子育て施策の充実を始めとした移住・定住の支援策に力を入れるとともに、オンラインによる移住相談など、定住に関する情報を引き続き発信します。施策と併せて市の魅力や住みやすい環境を内外へ効果的にPRをしていく必要があります。								
		備考：住民基本台帳（4月1日～3月31日の合計）								
新規住宅建築件数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(件)	185	240	185	194	189	177		185
R5状況		誘因・要因・課題								
前年度から12件減少しており、めざそう値（R6）に比べて8件少ない状況となっています。		令和元年度は消費税が10%に増税されたことによる駆け込み需要があったため大きく増加し、令和2年度はその反動や、新型コロナウイルスの影響もあり、前年比で55件減少しました。令和3年度は増加に転じましたが、令和4年度・令和5年度については建築資材価格高騰の影響もあり減少が続いています。								
		引き続き新規住宅建築による定住人口の増加を図るため、子育てや住宅支援施策などの定住に関する情報を集約して発信し、市の魅力や住みやすい環境をPRしていく必要があります。								
		備考：固定資産の価格等の概要調査								

基本目標 5 地域特性に応じた魅力発信と定住促進（観光）

[illegible]

R5状況	誘因・要因・課題
前年度から増加しておらず、めざそう値（R6）を達成している状況です。	団体からの連携協定の締結の申し入れを受け、連携して活動を行うことによる、さらなる市民サービスの向上や地域の活性化を目指し、協議を進めています。しかし令和5年度については締結企業はありませんでした。引き続き、多様な団体と連携し、協働して活動を行うことにより、地域の活性化や市民サービスのより一層の向上を図ります。
	備考：市との包括的な連携協定を締結している企業・団体等の数

強化目標B 誰もが活躍できる地域社会を実現（全員活躍）

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本的施策 ③障がい者の自立と共生									
自立支援給付を受けて地域生活している人数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(人)	401	410	438	488	509	542		550
R5状況	誘因・要因・課題								
前年度と比べて33人増加しており、めざそう値(R6)に比べて8人少ない状況です。	障がいに対する認識が広がり、就労継続支援、共同生活援助など自立に向けた障がい福祉サービス利用者が増加しています。その一方で、みどり市をはじめ全国的な課題として相談支援専門員の不足により相談支援体制が逼迫しているのが現状です。地域生活支援拠点の整備による報酬加算や相談支援専門員の増員に向けた事業所訪問等を積極的に行い、相談支援専門員の職務環境向上に取り組み、引き続き自立支援給付の拡大に努めていく必要があります。								
備考：自立支援給付事業利用者数									

強化目標C 都市部・他地域からのひとや資金の流れを強化（交流促進）
